

令和4年度 指定管理者モニタリングチェックシート

評価期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	指定管理者名	日向若山牧水顕彰会
施設名	若山牧水記念文学館・若山牧水生家	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
所管課	スポーツ・文化振興課		

自己評価 (指定管理者が記載)	本年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による行動制限等が緩和されたことにより、入館者は若干増加しましたが第7波、第8波の影響から団体等のキャンセルがあり、入館者数、収益事業ともに感染拡大以前の状態に回復することはありませんでした。そのような中ではありましたが、企画展示事業では新規収蔵品の公開展示、牧水遺墨の入替展示、榎倉香邨遺作展、三浦家寄贈資料展等。ギャラリーでは牧水の略歴、牧水母校展など年間を通して開催することができました。3年振りの通常開催を予定していた「第72回牧水祭」は、台風14号の影響により第2部の「牧水を偲ぶ会」は中止し、主催者による「歌碑祭」のみの開催となりましたが、当日中止としていた鼎談『牧水短歌が紡いだ牧水と香邨』については、3月に改めて開催し県内外の参加者があり好評を得ました。来館者に対しては適切な接遇に務め、場に応じた対応に努めるなどサービスの向上を図りました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年に引き続き入館時に手指消毒、検温の依頼をするなどの対応に努めました。施設の管理運営については、ウクライナ情勢、急激な円安等による物価高により管理経費が増加傾向となる中ではありましたが、市と連携し生家井戸屋根の改修、文学館底の修繕、台風被災による照明灯の改修工事、駐車場ライン整備を実施するとともに、展示室照明の一部LED化、光熱水費等の節減を図るなど適正な維持管理に努めました。
--------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価項目	評価内容	評価		確認資料等	
		指定管理者	市		
① 利用状況・サービス向上	施設（サービス）の利用状況	利用者が前年度実績や目標を上回っているか。施設の稼働率はどうか。	C	B	日報、月報、事業報告書
	施設の平等利用	利用者の平等な利用が確保されているか。	A	A	日報、月報、利用者アンケート
	苦情・要望等への対応	苦情、要望等を施設の管理運営に反映できているか。また、苦情数は減少しているか。	A	A	利用者アンケート
	利用者満足度	利用者アンケートは適切に実施されているか。その結果を施設の管理運営に反映できているか。	B	B	利用者アンケート
	サービス向上への取り組み	サービス向上に向けた具体的な取り組みがあるか。（自主事業の周知、接客態度、予約方法の工夫等）	A	B	日報、月報、事業報告書
	自主事業の実施状況	施設の設置目的に沿った自主事業を実施できたか。また、それによって施設利用者は増加したか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	①の総括		B	B	
② 管理能力	人員配置の状況	事業計画書の通り人員が配置されているか。必要な資格や経験を有する人員が確保されているか。	B	B	人員配置計画、出勤簿、実地
	人材育成の状況	事業計画書の通り従業員の指導育成及び研修が行われているか。	B	B	研修マニュアル
	コンプライアンスについて	関係法令や市条例、市規則、その他市が定める規程及び仕様書に基づき適切に業務を遂行しているか。	A	A	業務ガイドライン等、実地
	従業員の労働環境	労働法令の遵守や労働条件への配慮がなされているか。	B	B	実地、出勤簿
	外部委託等の状況	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていないか。	A	A	実地
	防犯、防災に対する態勢	避難経路の確保や事故防止策など、緊急事態への対策ができているか。	A	A	実地
	緊急事態に対する態勢	安全・衛生管理や危機管理に対するマニュアル等の整備や従業員の訓練する等、適切に行われているか。	B	B	危機管理マニュアル等、実地
	個人情報の保護	個人情報保護の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	A	A	個人情報保護マニュアル等、実地
	情報公開の規程状況	情報公開の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	B	B	情報公開マニュアル等、実地
	文書管理について	作成受領した文書は適切に保管及び管理されているか。	B	B	実地、保存文書
	環境への配慮	環境に配慮した物品の購入、省エネの取組、リサイクルの推進等の対応を適切に行っているか。	A	A	日報、月報、実地
②の総括		B	B		

評価項目	評価内容	評価		確認資料等	
		指定管理者	市		
③維持管理・経理状況	施設、設備等の管理状況	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っているか。	A	A	日報、月報、点検報告書、実地
	清掃、警備業務の実施状況	仕様書等に基づき、清掃業務、警備業務を適切に行っているか。	A	A	日報、月報、実地
	備品等の管理状況	備品台帳に基づき、備品等を適切に管理・保管しているか。	B	B	備品台帳、実地
	指定管理業務の収支状況	収支状況が当初の目標を達成しているか。(利用料金、委託料等の実績)	B	B	日報、月報、事業報告書
	自主事業の収支状況	自主事業の収支状況が当初の目標を達成しているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	経費削減の取り組み	経費削減の取り組みが行われ、成果があらわれているか。	A	B	日報、月報、事業報告書
	③の総括		B	B	
総合評価	①、②、③の総括による総合評価	B	B		

※総合評価の理由	<p>入館制限のあった前年度より入館者数は増加しましたが、「ふるさと再発見事業」再開による市内児童生徒の受け入れ(減免)によるところが大きく、入館料、物販などの収益に関しては、新型コロナウイルス感染症感染拡大以前の状況までは回復しませんでした。そのような中、新規収蔵品の公開、榎倉香邨遺作展、三浦家寄贈資料展など定期的に企画展示内容を変更し、顕彰活動の推進および集客に努められています。</p> <p>来館者への適切な接遇や説明、感染症対策など適切に施設管理が行われていますので、今後も継続していただきたい。</p>
※特記事項(成果・課題等)	<p>若山牧水記念文学館の資料に関する専門的な調査研究に努め、それを生かした魅力ある企画展内容の充実を図る等、入館者数の増加や牧水関連商品の販売強化などに努めていただきたい。また、観光振興事業との連携、ホームページやSNSを活用するなど市内外へ「牧水のふるさと」をアピールし、文学館に関心を持ってもらえるよう積極的な情報発信を行っていただきたい。</p> <p>今後も施設の安全管理に努め、来館者が快適に利用できるようにサービス向上への取り組みを継続していただきたい。</p>

※総合評価の理由及び特記事項(成果・課題等)は市所管課が記載します。

評価区分	評価基準	<p>A(優良) = 協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理が行われた</p> <p>B(良好) = 協定書等を遵守し、その水準におおむね沿った管理が行われた</p> <p>C(課題含) = 協定等をおおむね遵守しているが、一部に課題が残る内容であった</p> <p>D(要改善) = 協定書等を遵守しておらず、改善が必要な内容であった</p>
	総括	<p>A(優良) = 評価基準が全てB以上であり、かつAが過半数以上である</p> <p>B(良好) = 評価基準が全てC以上であり、かつB以上が8割以上である</p> <p>C(課題含) = 評価基準が全てC以上である</p> <p>D(要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>
	総合評価	<p>A(優良) = 総括が全てB以上であり、かつAが2つ以上ある</p> <p>B(良好) = 総括が全てB以上である</p> <p>C(課題含) = 総括が全てC以上である</p> <p>D(要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>